

出土遺物　しゅつどいぶつ

土器や石器のほか、祭りに使ったと思われる土製品などが出土しています。



朱塗りの壺

14

キノコ形土製品

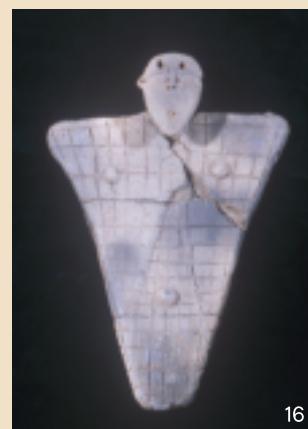
12

ヒョウタン形の壺



15

鐸形土製品



16

土偶



17

渦巻形土製品



祭りの道具集合

18



北秋田市教育委員会 生涯学習課

〒018-3312 秋田県北秋田市花園町15-1
TEL(0186)62-6618 FAX(0186)63-2678

写真1・5・6・8・9・10／秋田県埋蔵文化財センター提供

国指定史跡



いせどうたい　いせき
伊勢堂岱遺跡



縄文の聖地、今よみがえる。

北秋田市教育委員会

伊勢堂岱遺跡－祭りと祈りの舞台－

伊勢堂岱遺跡は、標高40~45mの舌状台地上に位置します。環状列石を中心には、たくさんの祭り・祈りの施設が見つかっています。祭りに使われた道具なども数多く出土しており、縄文時代後期前半（約4,000年前）の大規模な祭祀の場と考えられています。縄文時代の精神文化や社会組織、土木工事の様子などを解明する上で重要な遺跡であることから、平成13年1月には、国の史跡に指定されました。

遺跡は200,000m²もの面積を持つ台地の全域にひろがり、環状列石をはじめとする祭り・祈りの施設は、台地北部を中心に展開されています。

国内を代表する環状列石

伊勢堂岱遺跡の大きな特徴は、大規模な環状列石がいくつも造られていることです。これほど近接した範囲内に複数の環状列石が集中する遺跡は、全国でも例がありません。

環状列石 かんじょうれっせき

山や河原から運んできた自然の石を円形に並べて、墓や儀礼用の施設としたものを、環状列石といいます。伊勢堂岱遺跡では、今までに4つの環状列石が見つかっています。



1

環状列石A 最も北側にある環状列石です。つるがついたメロンのような形をしています。(直径32m)



2

環状列石D 新たに発見された環状列石です。(直径36m)

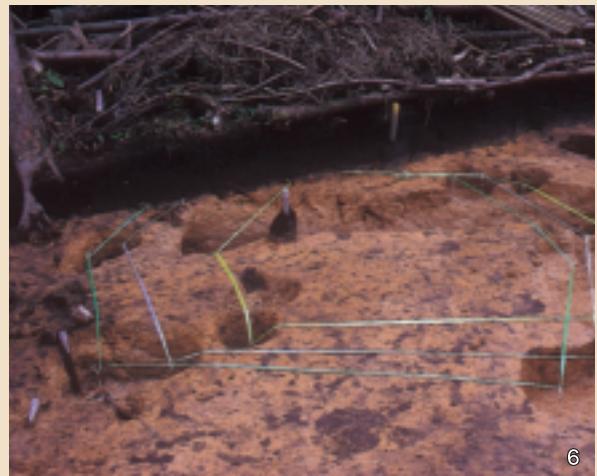


掘立柱建物跡 ほったてばしらたてものあと

地面に穴を掘り、その穴に柱を立ててつくった6本柱建物の跡です。住居、儀礼用の建物などの説があります。



5



6

埋設土器 まいせつどき

死者の骨を土器に納め、埋めた墓です。土器の上には小さな石が置かれています。



7



8

土壙墓 どこうぼ

素掘りの墓です。墓穴の中には、土器や石器が供えられていました。



9



10

2重の環 **日時計状のもの** **四角形のもの**



3

環状列石C 石の環が3重にめぐっている環状列石です。周囲からたくさんの建物跡が見つかりました。(直径45m)



4

環状列石A 最も北側にある環状列石です。つるがついたメロンのような形をしています。(直径32m)